

めぐみイエス・キリスト教会

2018年3月4日(日)第一聖日礼拝
週報「通算第395号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年3月4日(第一聖日礼拝)

午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌505「主われを愛す」 p. 807

【交読文】 No.46 詩篇第148篇 p. 915

【賛美Ⅱ】 新聖歌266「罪咎を赦され」 p. 418

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.15 「だから元気を出しなさい」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書13章36節～38節(新約p. 191)

【祈 禱】

【説 教】 《後にはついて来ます》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless you」 p. 294

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1「主よ。どこにおいでになるのですか」と、ペテロの質問は？

※ヨハネの福音書13章33節「イエス様の言葉から」 (新約p.190)

13:33 「子どもたちよ。私はいましばらくの間、あなたがたと一緒にいます。あなたがたは私を捜すでしょう。そして、『私が行く所へは、あなたがたは来ることができない。』と私がユダヤ人たちに言ったように、今はあなたがたにも言うのです。」

●ポイント2「後にはついて来ます」と言う、イエス様の言葉の意味とは？
※ヨハネの福音書14章1節～4節「イエス様のお答え」（新約p.191上段）

※ヨハネの福音書21章18節～19節「ガリラヤ湖畔にて」（新約p.206）

21:18 「まことに、まことに、あなたに告げます。あなたは若かった時には、自分で帯を締めて、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、他の人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」

21:19 これは、ペテロがどのような死に方をして、神の栄光を現わすかを示して、言われたことであった。こうお話しになってから、ペテロに言われた。「私に従いなさい。」

●ポイント3「あなたの為に命を捨てます」と言うペテロの言葉の真意は？
※マタイの福音書4章18節～20節「ペテロとアンデレの召命」（新約p.5）

4:18 イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、ふたりの兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレをご覧になった。彼らは湖で網を打っていた。漁師だったからである。

4:19 イエスは彼らに言われた。「私について来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」

4:20 彼らはすぐに網を捨てて従った。

※マルコの福音書10章28節～30節「ペテロの心からの告白」（新約p.80）

10:28 ペテロがイエスにこう言い始めた。「ご覧ください。私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。」

10:29 イエスは言われた。「まことに、あなたがたに告げます。私のために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、

10:30 その百倍を受けない者はありません。今のこの時代には、家、兄弟、姉妹、母、子、畑を迫害の中で受け、後の世では永遠のいのちを受けます。」

※第一コリント9章5節「私たち(パウロとバルナバ)には」（新約p.300）

9:5 私たちには、ほかの使徒、主の兄弟たち、ケパなどと違って、信者である妻を連れて歩く権利がないのでしょうか。

◎先週のメッセージの概要【新しい戒めとは？】

《「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、そのように、互いに愛し合いなさい。」

実際に、この新しい戒めが有効になるのは、イエス様の十字架の御わざを経た後のこととなります。旧約の終わり和新約の始まりは、イエス様の十字架の上における神の小羊として、尊い血潮が流された時なのです。

イエス様が新しい戒めと言われたのなら、当然、古い戒めが存在します。それが律法です。しかし律法を完全に守ることの出来る者は、一人もいないのです。唯一、イエス様だけが、死なれる最後の時まで守り通されたのです。

さてイエス様は、「私があなたがたを愛したように。」と言われました。これは、最後の晩餐の途中、イエス様がなされた洗足のことから理解できます。『過越の祭りの前に、世にいる自分のものを愛されたイエス様は、その愛を残る所なく示された。夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それから、たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまっとうおられる手ぬぐいで、ふき始められた。』

本来ならば異邦人の奴隷がすべきことを、師であるイエス様がなされたのです。これは「互いに仕え合いなさい。」と言うことを教えておられます。

しかし弟子たちが、本当にイエス様の言葉の真意を理解するには、師の十字架と言う大きな試練を通らなければなりませんでした。十字架にこそ、神様の愛が示されています。

使徒ヨハネは、『神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちがまた互いに愛し合うべきです。』と、その手紙に明確に語っています。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、3月11日(日)午前10時から行ないます。また次回聖書研究会・祈祷会は、3月7日(水)午後6時15分から、通常通りに行ないます。
2. 鈴木師は、3月6日(火)下妻朝祈祷会礼拝奏楽と特別賛美の伴奏を担当します。ますみさんの薬疹と、ピロリ菌完全除去の為に、引き続きお祈り下さい。